

令和6年8月7日

浄水地域会議
会長 佐竹 修 様

豊田市長 太田 稔彦

検討結果報告書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第202条の7第2項の規定に基づき諮問し、答申を受けたことについて、下記のとおり報告します。

記

- 1 報告事項 令和6年1月10日に浄水地域会議から受けた『（仮称）ミライ構想』のめざす姿やまちづくりの基本的な考え方、都市構造に関する答申についての検討結果は別紙のとおり
- 2 主管課名 企画政策部 企画課、都市計画課

浄水地域会議からの答申に対する検討結果

1	答申内容	【(仮称) ミライ構想の方向性(素案)に対する考え】 (1) めざす姿について 浄水地域においては、新旧住民でふれあい豊かな地域づくりを進めるため、地域住民の交流や参加を促進することが求められており、めざす姿について「妥当である」と考える。 ・浄水地域では、多世代交流により、持続可能な子育てしたいまちづくりを行っている。「つながり」を通じ多様な価値や可能性を創出し、持続可能なまちをめざす姿とすることは適当である。 ・持続可能なまちを実現するために多様な「人と人」、「人と地域、自然」とのつながりを通じた「認め合い・気づき・学び合い」が重要であるため、「つながり」はよい表現である。 ・浄水地域はこれからも変化し続けると思うが、豊田市全体を考えると「変えてはいけないもの」「守り続けるべきもの」があり、「守る(継承)」も重要である。 「つくる」については、何を「つくる」かわかりづらく、深化で変化を強調しているため、「かわる」という表現でもよいのではないか。 ・めざす姿のスローガンについて、「つながる」を「つなげる」、「つくる」を「つくり」にするなど、主体性をだしてもよいのではないか。
	市の考え	ご意見のとおり、「つながり」については、多様な「人と人」「世代と世代」「人と地域、自然」とのつながりを通じた「気づき合い」「認め合い」「学び合い」が重要と考え、「(仮称) ミライ構想」に掲げています。 「守る(継承)」については、今後5年間で特に注力する取組の方向性をとりまとめる「(仮称) ミライ実現戦略2030」においては、人生100年時代といわれる中で、豊かな経験・活力を次世代につなぐチャンスと捉え、継承の視点を持ち、本市の多様な自然、歴史・文化芸術、スポーツの魅力を始めとした継承に向けた取組の検討を進めています。 なお、将来像については、豊田市に暮らす中で「つながる」、「つくる」「暮らし楽しむ」を実現できる姿を考えており、主体性については、その姿の実現に向けた行動規範となる「まちづくりの基本的な考え方」の中で表現していくことを考えています。

2	答申内容	【(仮称)ミライ構想の方向性(素案)に対する考え】 (2) まちづくりの基本的な考え方について まちづくりの基本的な考え方について、「賛同」する。また、浄水地域は新しいまちであるため、基本的な考え方を率先して推進していくべきまちであると考えている。 ・人は変化を避けるため、3つの変える「気づく・考える・行動する」を実践することは難しいが、変化しないと衰退してくため、進めていくべきである。 ・DXのような利便性を高める施策を肯定的に捉え、率先して改善策を進めるようなまちになることが、この地域の発展に必要なことであると考えている。そのためには、みんなが3つの「変える」に共感できる働きかけを推し進めていく必要がある。 ・「あるものを有効活用し、最大の効果を得るために、今の発想を変える」ということには賛同できる。具体的な事例を示すとより伝わるのではないか。 ・「行動する」について、行動ができない方もいるため、「助ける」という表現や視点を加えてもよいのではないか。
	市の考え	「まちづくりの基本的な考え方」に基づき、具体的な取組の検討を進めていきます。 具体的な事例を示すなど、伝え方については、第9次豊田市総合計画は、分かりやすく親しみやすいものとなるよう図書以外にも動画など様々な媒体を活用しながら、まちづくりの方向性を市民の皆様と共有していく考えです。 「助ける」という視点については、あわせて配布させていただいた「(仮称)ミライ構想」本文において、「行動を「変える」〈行動する〉」の中で、できることから行動につなげていくことを意識する視点を記載させていただいているほか、「(仮称)ミライ実現戦略2030」においても、全ての人がつながり合いの中で安心して暮らすことができる社会を目指すことを視点として掲げることを考えており、「助ける」視点につながっていくと考えています。

3	答申内容	【(仮称) ミライ構想の方向性(素案) に対する考え】 (3) 都市構造について 都市構造については、浄水地域としてはイメージや理解がしやすいものであり、全市的に基本的な考え方のおり進めてほしいと考える。 ・既存のインフラ(鉄道等)により、えきちか居住誘導エリアを設定し、住みやすいまちをつくり、市内外の居住者を誘引することは合理的であると考えます。 ・都市構造のイメージではデジタルで連携が可能になる部分もあるが、ヒト・モノの流れをどう連携させるかが重要と考える。
	市の考え	ご意見のとおり、デジタル技術の活用により効果的な連携が図られることもあれば、人が移動しなければ連携できない分野もあるものと認識しております。 そのため、拠点と拠点を結ぶ公共交通や道路等のネットワークの強化についても示していきたいと考えています。
4	答申内容	【(仮称) ミライ実現戦略2030の方向性(素案) について】 地域活性化のためには住民の「愛着、誇り」からの活動が必要で、またその地域の将来を担うのはこどもたちだと思うので、この横断的な目標に「賛同」する。 ・横断的な目標が「こども」「愛着・誇り」という単語のみの表記であり、表現としてはわかりづらい。例えば「こども」については「こどもを支えるまちづくり」など、目標とする方向性を文章化して示した方がよいと考える。
	市の考え	ご意見のとおり、本市は多様な地域や歴史文化、芸術、自然等の資源を有しており、様々な「つながり」を通じて多様な価値をつくりだし、市民一人ひとりが愛着や誇りをもって、これらの魅力を次代を担うこどもたちにつないでいくことが大切であると考えています。 「(仮称) ミライ実現戦略2030」については、あわせて配布させていただいた「第9次豊田市総合計画中間案」に現在の検討状況をまとめておりますので、ご参照ください。
5	答申内容	【その他第9次豊田市総合計画の策定に求めることなど】 カタカナ表記を避けるなど、皆が理解できるわかりやすい表現にした方がよい。

	市の考え	・表現については、市民の皆様が理解しやすい説明や表現を工夫していきます。 計画自体についても、市民の皆様にとって分かりやすい計画とする とともに、手に取りやすい図書となるよう工夫していくほか、動画 など様々な媒体を活用しながら、まちづくりの方向性を市民の皆様 と共有していく考えです
6	答申内容	【その他第9次豊田市総合計画の策定に求めることなど】 市民に対して、総合計画の具体的な内容に関する広報活動が必要だ と考える。
	市の考え	策定に当たり、地域会議での諮問答申のほか、こども会議や学生・ 外国人の方との意見交換、子育て世代を中心としたまちづくりミー ティングや中間報告会等を開催し、市民の皆様から広くご意見を頂 くとともに、計画について知っていただけるよう努めています。 しかし、御指摘のとおり市民の皆様へ情報を届ける・伝えることが 不十分であると認識しており、戦略的な情報発信について「(仮 称)ミライ実現戦略2030」の施策にも掲げ、積極的な発信に取り 組んでいきたいと考えています。
7	答申内容	【その他第9次豊田市総合計画の策定に求めることなど】 変化については非常に重要だが、「あらゆる主体」では曖昧なの で、行政が変化すること、地域が変化することなど具体的に落とし 込めるとよい。
	市の考え	あわせて配布させていただいた「(仮称)ミライ構想」本文におい て、「3つの「変える」」については、市民・行政の行動規範となる 「まちづくりの基本的な考え方」として整理しなおしています。 なお、様々な主体が具体的にイメージできる伝え方・情報発信につ いては、工夫していきます。
8	答申内容	【その他第9次豊田市総合計画の策定に求めることなど】 「少子高齢化」に対する姿勢や考え方を入れた方がよい。

	市の考え	「第9次豊田市総合計画中間案」において、「人口減少社会への突入」や「人口構造の大転換」といった社会背景やそれを踏まえて注力する視点について、現状の検討状況の概要を整理しています。 なお、「(仮称)ミライ実現戦略2030」の策定を進める中で、詳細を整理していく考えです。
9	答申内容	【その他第9次豊田市総合計画の策定に求めることなど】 豊田市に住んで良かったと思える表現を加えるとよい。
	市の考え	「(仮称)ミライ実現戦略2030」において、注力する視点として、①「こども」起点でまちづくりを考える。②誰もが「つながり合う」まちづくりを進める。③人を支える「まちの基盤」をつくる。を掲げています。 こうした視点を踏まえ、若い世代を含むこどもたちが多様な場で、多様な人と世代とつながり多様な経験ができるまちづくりや人生100年時代に豊かな経験・活力を次世代につなぎ、高齢者を始め、大人たちがいきいき暮らす姿を伝えることで、まちへの愛着を育むとともに、こどもたちにミライに夢と希望をつくることを目指すことを重視したいと考えており、こうした取組を通じて、「住んで良かった」と思えるまちづくりにつなげたいと考えています。
10	答申内容	【その他第9次豊田市総合計画の策定に求めることなど】 【仮称】ミライ実現戦略として、「こども」を標榜する場合、部活動の地域移行は重要な課題と考える。地域と行政の両輪が相まって実現するため、市においては相応の予算や人員を確保するなどして、こどもの健全育成に努められたい。
	市の考え	「(仮称)ミライ実現戦略2030」において、部活動の地域移行を始めとした、こどもたちが多様な場で、多様な人と関わり、多様な経験をするための取組を検討していきます。